



忖度より選択 みんなで考え、備えよう。 災害への備え×ジェンダー平等

風水害、地震……災害大国日本に住む私たち。災害発生!その時、避難～避難所生活で助け合って困難を乗り切るために、日ごろから取り組み、用意できることはあるでしょうか。□□避難所と△△避難所の様子はずいぶん違うようです。あなたの住む地域はどうでしょう。見直したり、変えていきたいことがありますか?

□□避難所では…



△△避難所では…



みんなで話し合おう

災害時は特に、高齢者、障害がある人・子どもとその家族、女性、外国人、性的マイノリティの人たちなどが、特有のニーズを周囲に伝えられず、取り残されがちであると指摘されています。また、視覚障害のある方は、情報を得る機会が得られず被災地に取り残されたり、避難が遅れる割合が多いとのデータもあります。平時のうちに、話し合いで情報集めをしたり、遠慮しないで困りごとを伝えられるように声を掛け合っていたら、余裕をもって対応できそうですね。男女共同参画では誰もが否定されずに意見を言える場があたりまえにあることを大切に考えています。

性別・立場による避難生活上の問題 これらは健康被害や関連死につながりやすい。

トイレ・衛生の問題

仮設トイレ、足腰が悪い人もつかえるかしら？

安全の問題

プライバシーが守りにくいと、犯罪のリスクも高まる

環境・物資の問題

着替えスペースや授乳室を確保してほしい。ついたてはある？

避難形態別の問題

車中やテント、自宅避難では情報も得られず支援から取り残されそう

性別による社会的役割期待・慣習に関する問題の傾向

※あくまで男女別の傾向。参考にしながらすべての人の支援を考える必要があります。

ケア役割の荷重負担



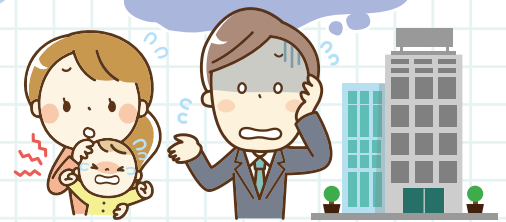
避難所運営組織や企業の意思決定に関われない



組織責任・家庭の経済的責任のプレッシャー



家族ケアと職場復帰の板挟み



家族会議で、災害持ち出しバッグやストック品の確認をしてみよう。

おまけ

避難所生活に持っていききたいリラックスグッズ

「ささえあいマップづくり」や「クロスロード(防災ゲーム)」が役に立ちそう



お気に入りのタオル



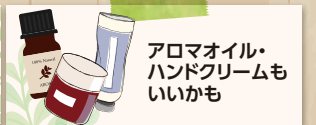
繰り返し読んでも飽きない本や漫画



やっぱり一部の役員だけでは無理があるなあ



普段使いのヘアケア・化粧品



アロマオイル・ハンドクリームもいいかも

おすすめの本

カラーモンスター きもちは なにいろ？

著／アナ・レナス 訳／おおも たけし



今のあなたの気持ちは「なにいろ」ですか。今のカラーモンスターの気持ちはとても複雑で、自分でも分かっていません。こんがらかった気持ちをほどこいて、気持ちを整理していく絵本になっています。子どもにはもちろん、大人にもだいじなところのセルフケア。ふだんから気持ちの整理を心がけ、スッキリした気持ちで過ごせるといいですね。

相談窓口

①女性の相談窓口

と き：月～金（祝日・休館日、年末年始を除く）9時～17時

T E L：070-2636-7763，25-6056

②何でも無料相談室

と き：毎週土曜日13時～16時

T E L：25-6056

①②とも場所は男女共同参画センター（SSプラザせんだい内）

●配偶者等からの暴力

と き：月～金（祝日・年末年始を除く）9時～17時

ところ：市役所社会福祉課

T E L：20-6343（直通）

●よりそいホットライン

と き：24時間対応

T E L：0120-279-338

編集後記

「世の中が変わったのではない。変えてきたのだ」フェミニストで東京大学大学院名誉教授の上野千鶴子さんの言葉です。コロナ下で、リモートワークやオンライン会議が浸透するなど驚きの速さで社会は様々な変化を遂げました。変わる必要があれば、私たちは変えていける力を持っていることをコロナ禍は教えてくれました。この紙面が少しでも、「変えていく」力の一つになっていたらいいなあ。最後まで読んでくださりありがとうございます。（K&K）

発行／薩摩川内市未来政策部コミュニティ課
編集／薩摩川内市男女共同参画推進実行委員会
問い合わせ先／〒895-8650

薩摩川内市神田町3-22

T E L：0996-23-5111（内線4741）

F A X：0996-20-5570

Email：hitomirai@city.satsumasendai.lg.jp

（令和5年3月発行）